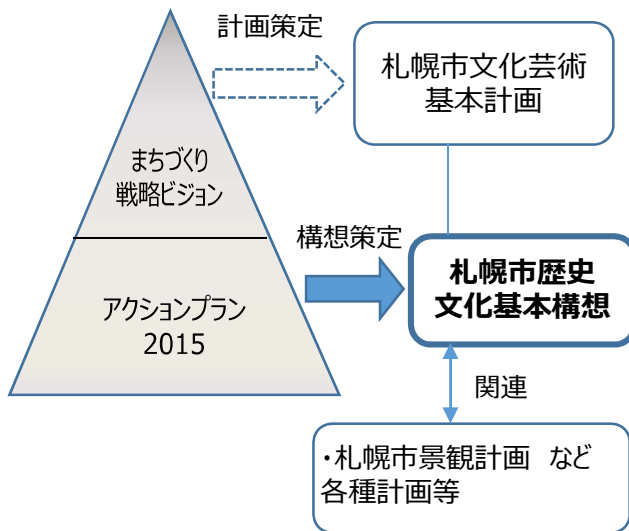


歴史文化基本構想策定について

【歴史文化基本構想の位置付け】



【歴史文化基本構想について】

地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための構想。この「歴史文化基本構想」を各自治体で定めることにより、文化財保護に関するマスタープランとしての役割を果たすことや、文化財を生かした地域づくりに資するものとして活用されることが期待される。

※文化財について

- ・歴史上、芸術上、学術上において価値が高く、後世に継承していく必要のあるもの。
- ・構想においては文化財の指定・登録の有無や文化財保護法の類型にとらわれず、札幌の貴重な財産として文化財を幅広く捉える。

歴史文化基本構想策定にむけての取組

